

6 軒天

6-3 納まり詳細図

5) 軒天12トリスタ標準施工法 QF030RS-0250

●下地組み

野縁平行組: 軒の出方向は500mm以下の間隔で野縁(幅: 40×高さ: 30mm以上)を組みます。

野縁梯子組: 軒の出方向は500mm以下、幅方向は455mm以下の間隔で野縁(40×30mm以上)を組みます。

軒天材の左右接合部は野縁2本組とします。

軒の出が500mmを超える場合、軒の出@500mm以下に吊り木(吊り木@1000mm以下)で吊ります。

●下地の不陸は3mm以下に調整します。

※ボルト頭や下地組みの不陸・ねじれなどは仕上がりに影響するばかりでなく、無理な施工から軒天材の破損をまねくおそれがあります。

●軒天材の切断はオールダイヤモンドチップソーを使用します。

●軒天材の留め付けは専用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×45mm)を用い、

野縁平行組: 軒の幅方向は225mm以下の間隔(910幅に5本留め)で留め付けます。

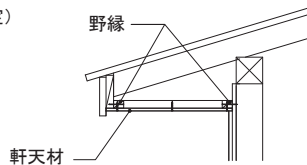
軒の出方向は野縁ごとに留め付けます。

野縁梯子組: 軒の幅方向・出方向ともに225mm以下の間隔で留め付けます。

●軒天材端部の釘打ち位置は端あき20~35mmとします。

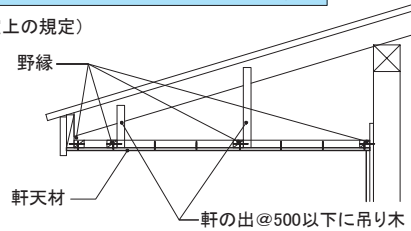
軒の出が83(壁勝ち)~500mm以下の場合
軒の出が58(軒勝ち)~500mm以下の場合

(防火認定上の規定)

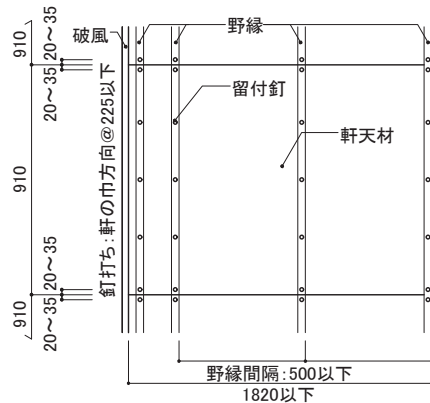
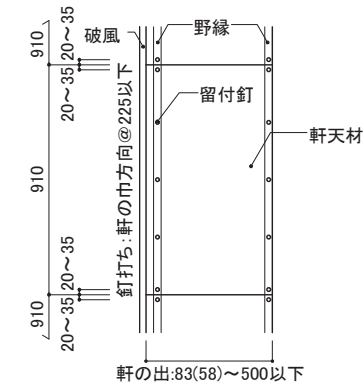


軒の出が500~1820mm以下(注)の場合

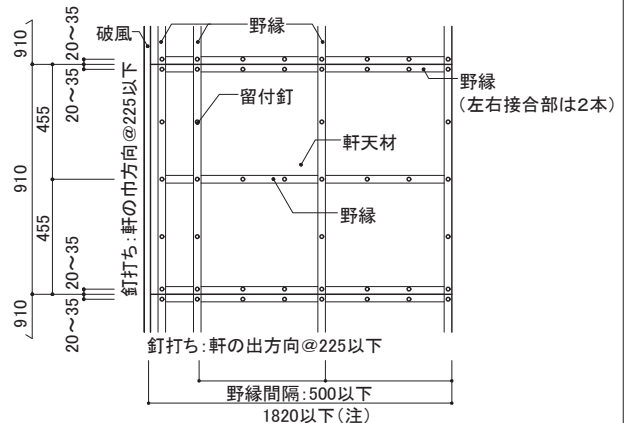
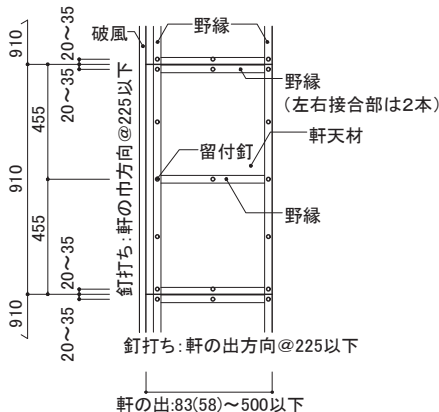
(防火認定上の規定)



野縁平行組



野縁梯子組



(注) 認定は最大寸法で取得しておりますが、製品寸法により上限値は1820mmとなります。

6 軒天

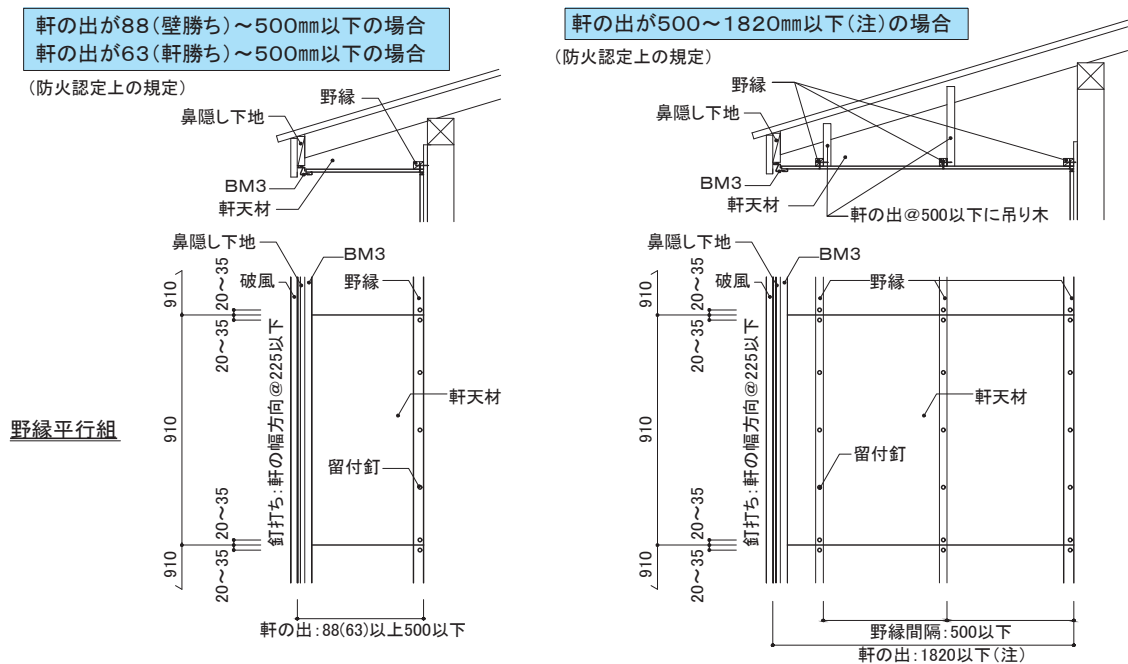
6-3 納まり詳細図

6) 軒天12トリスタ(軒天通気見切縁BM3)標準施工法 QF030RS-0348-1

30分準耐火構造適合品/日本化学産業(株)社製BM3
 ※軒天12トリスタ以外の軒天材には認定が適用できません。
 ※軒天通気見切縁本体に塗装を施した場合は認定が適用できません。

BM3に関してのお問い合わせは下記へお願いします。
 日本化学産業株式会社 建材本部 住宅建材グループ TEL:048-931-0252
 大阪支店 建材営業課 TEL:06-6910-2030
 名古屋支店 建材営業課 TEL:052-715-7603

- 下地組み
野縁平行組: 軒の出方向は500mm以下の間隔で野縁(幅:40×高さ:30mm以上)を組みます。(軒先には不要)
野縁を直接垂木に留め付けない場合は、軒の出が500mmを超える場合、軒の出@500mm以下に吊り木(吊り木@1000mm以下)で吊ります。鼻隠し下地: 厚みを30mmとし、高さを115mm以上としてください。
 - 下地の不陸は3mm以下に調整します。
※ボルト頭や下地組みの不陸・ねじれなどは仕上がりに影響するばかりでなく、無理な施工から軒天材の破損をまねくおそれがあります。
 - 軒天材の切断はオールダイヤモンドチップソーを使用します。
 - 軒天材の留め付けは専用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×45mm)を用い、軒の幅方向は225mm以下の間隔(910幅に5本留め)で留め付けます。軒の出方向は野縁ごとに留め付けます。
 - 軒天材端部の釘打ち位置は端あき20~35mmとします。
 - 軒天支持金具を鼻隠し下地に専用タッピングネジ(別売)で取り付け後、軒天材を取り付けます。
 - 軒天支持金具は@455mm以下かつ軒天材の接合部に取り付けます。
 - 軒天材施工後、軒天支持クリップを軒天支持金具に差し込み軒天材を固定し、BM3を専用のタッピングネジ(別売)で取り付けます。BM3は所定寸法に切断し、切断部は同色の補修液(別売)を塗布します。
 - 出隅カバー等は、BM3本体の片側にカバーを差し込むように嵌合させ、BM3本体を鼻隠し下地にビス留めし、もう片方のBM3本体をカバーに差し込むように嵌合させ、鼻隠し下地にビス留めします。
- ※塩害のおそれのある場所では、塩害地域仕様をご使用ください。
 ※片流れ屋根の水上側など、逆勾配の軒天への使用はしないでください。
 ※軒天材を張り替える場合、鼻隠し(破風)を取り外す等の工事が必要となります。



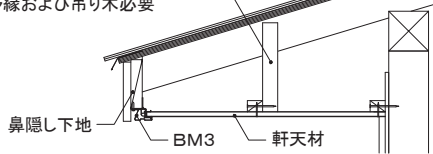
(注) 認定は最大寸法で取得しておりますが、製品寸法により上限値は1820mmとなります。

6 軒天

6-3 納まり詳細図

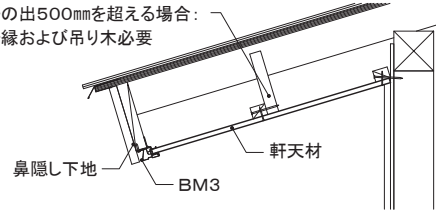
■納まり図

軒の出500mmを超える場合：
野縁および吊り木必要



〈軒天井: 水平〉

軒の出500mmを超える場合：
野縁および吊り木必要

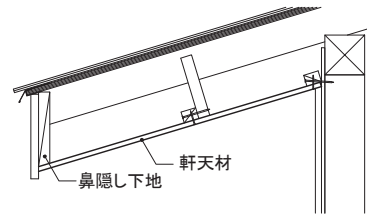


〈軒天井: 勾配〉

※右図のように鼻隠し下地と軒天材が直角でない場合は施工できません。

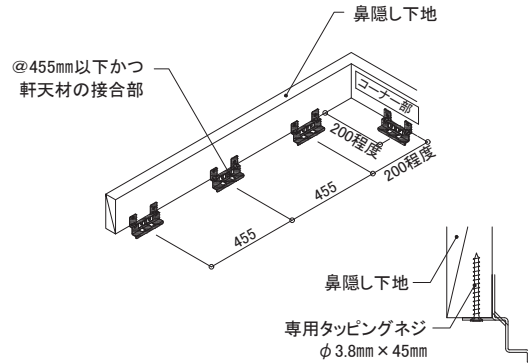
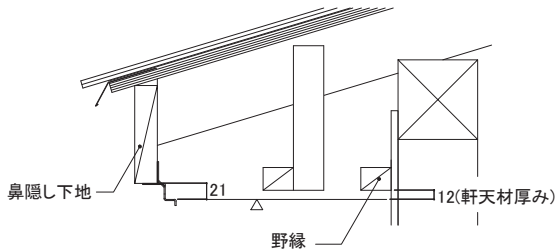


施工不可



■野縁・軒天支持金具の取り付け

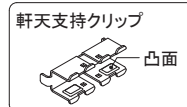
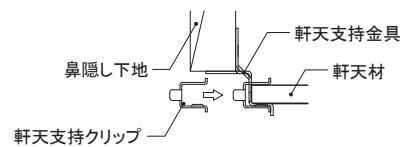
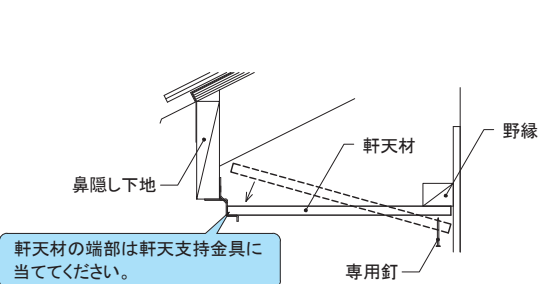
下図のように野縁および軒天支持金具を取り付けます。
※鼻隠し下地は厚みを30mmとし、高さは115mm以上としてください。



※下面からφ3.8mm×45mmの専用タッピングネジ2箇所留め。

■軒天材の取り付け

軒天材を軒天支持金具に設置し、野縁に釘留めします。
下図のように軒天支持クリップを軒天支持金具に差し込み固定してください。
軒天支持クリップは凸面を下側にしてください。

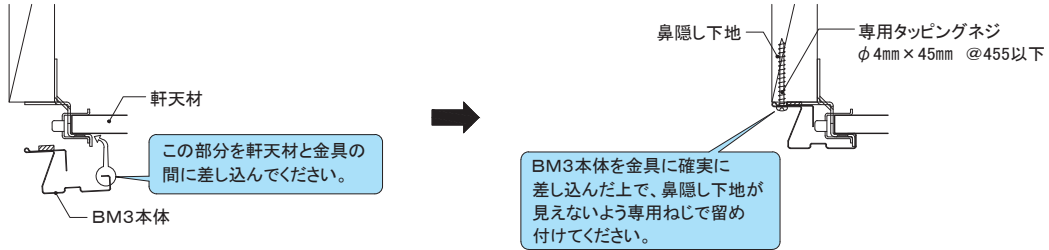


6 軒天

6-3 納まり詳細図

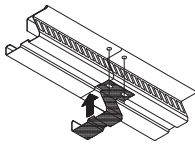
■ 本体の取り付け

軒天材施工後、下図のようにBM3本体を施工してください。



■ ジョイントの取り付け

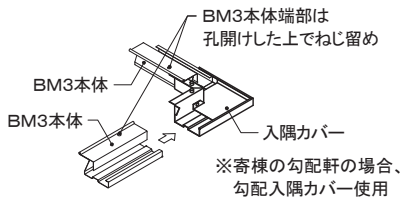
BM3本体のジョイント部は、下図のようにBM3本体を突き付けし、ジョイントをセットした上で、専用ねじで留め付けてください。



■ 各部の納まり

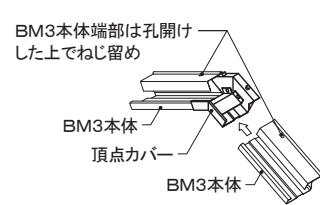
● 入隅コーナー

- ① 予め片方のBM3本体に入隅カバーを差し込んでおき、BM3本体を下地に固定してください。
- ② もう片方のBM3本体を入隅カバーに差し込み、下地に固定してください。
- ③ 入隅カバーは2箇所、下地にねじ留めしてください。



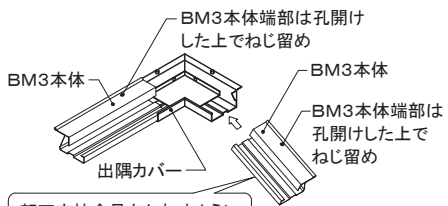
● 切妻頂部

- ① 予め片方のBM3本体に頂部カバーを差し込んでおき、BM3本体を下地に固定してください。
- ② もう片方のBM3本体を頂部カバーに差し込み、下地に固定してください。
- ③ 頂部カバーは2箇所、下地にねじ留めしてください。



● 出隅コーナー

- ① 取り付け方法は入隅カバーと同じです



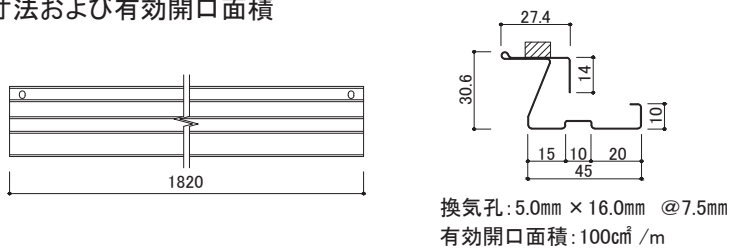
● 見切り端部

- ① BM3本体小口にエンドカバーを差し込んだ後、BM3本体を取り付けてください。



● BM3本体の補修
BM3本体の現場切断端部、あるいは施工後キズ等があった場合は専用の補修液で補修してください。

■ 断面寸法および有効開口面積



警告 BM3本体、役物の端部に鋭利な部分がありますので手袋をして扱ってください。けがの原因となることがあります。

6 軒天

6-3 納まり詳細図

●軒天12トリスタ(軒天通気見切縁KBM2N)標準施工法 QF030RS-0240

30分準耐火構造適合品／品番:KBM2N□□ 認定番号 軒裏:QF030RS-0240
 ※軒天12トリスタ以外の軒天材には認定が適用できません。
 ※軒天通気見切縁本体に塗装を施した場合は認定が適用できません。

●下地組み

野縁梯子組:軒の出方向は500mm以下、幅方向は455mm以下の間隔で野縁(幅:30×高さ:40mm以上)を組みます。

軒天材の左右接合部は野縁2本組みとします。

軒の出が500mmを超える場合、軒の出@500mm以下に吊り木(吊り木@1000mm以下)で吊ります。

●下地の不陸は3mm以下に調整します。

※ボルト頭や下地組みの不陸・ねじれなどは仕上がりに影響するばかりでなく、無理な施工から軒天材の破損をまねくおそれがあります。

●軒天材の切断はオールダイヤモンドチップソーを使用します。

●軒天材の留め付けは専用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×45mm)を用い、野縁梯子組:軒の幅方向・出方向ともに225mm以下の間隔で留め付けます。

●軒天材端部の釘打ち位置は端あき20~35mmとします。

●取り付けには専用タッピングネジ(別売:φ3.8×28.5mm)を使用します。KBM2N取り付け後、軒天材を取り付けます。

●KBM2N本体が長い場合は所定寸法に切断します。切断部は同色の補修液(別売)を塗布します。

●出隅カバーは、KBM2N本体の片側にカバーを差し込むように嵌合させ、KBM2N本体を野縁にビス留めし、もう片方のKBM2N本体をカバーに差し込むように嵌合させ、野縁にビス留めします。

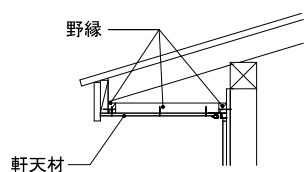
※塩害のおそれのある場所(海岸から5km以内)では、錆が発生する場合があります。

※片流れ屋根の水上側など、逆勾配の軒天への使用はしないでください。

軒の出が113(壁勝ち)~500mm以下の場合

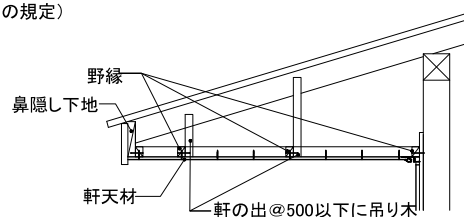
軒の出が88(軒勝ち)~500mm以下の場合

(防火認定上の規定)

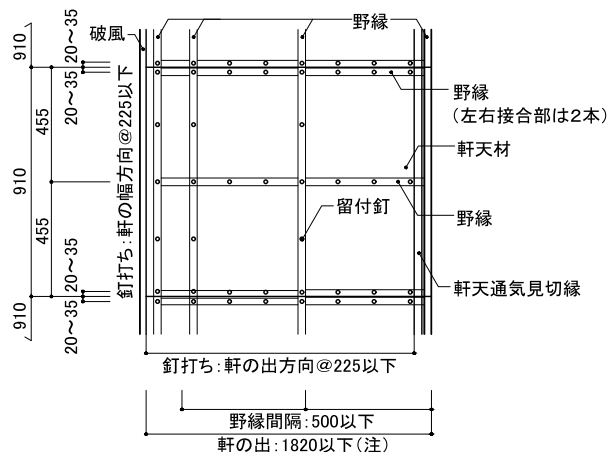
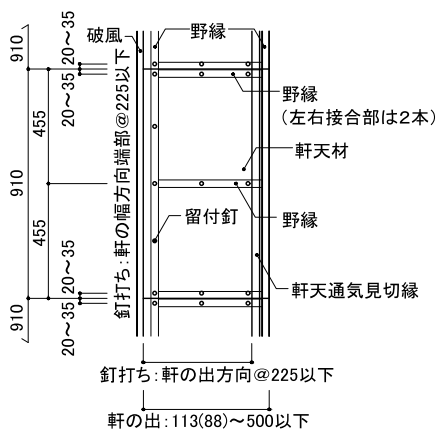


軒の出が500~1820mm以下(注)の場合

(防火認定上の規定)



野縁梯子組



(注)認定は最大寸法で取得しておりますが、製品寸法により上限値は1820mmとなります。